

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 57

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成29年3月21日<2017. 3. 21>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@csw-iba.org

第2回 社会福祉士共通基盤研修を開催しました！ in 茨城県総合福祉会館

3月4日は茨城県総合福祉会館で第2回共通基盤研修を開催いたしました。今回は昨年10月に開催した第1回共通基盤研修でも講師にお迎えした東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科長である三浦 剛 教授にお越し頂き、実践研究分野の講義と演習を行いました。

テーマは「ソーシャルワークの評価～根拠を示せる実践のために～」。介護の負担感などものさしで測れないものの数量化の必要性和難しさを体感できた研修会となりました。記録の付け方ひとつでも変わっていく。計画に基づいてどういう支援をし、どんな行動をしたのかを具体的に残すだけでもプロセス評価につながる。根拠を示せる実践、説明責任を果たせるように日頃から取り組んでいきたいものですね。



★ご案内★

**5月28日(日)に茨城県
社会福祉士会定時総会
を開催いたします。**

なお、時間等の詳細は後日
お知らせいたしますので、
皆様ご予定の調整をお願い
いたします。

目次、共通基盤研修を開催しました…1

社会福祉士共通基盤研修を受講して…2

IFSW「グローバル定義」と日本のソーシャルワーク実践に参加して…3

携帯電話やスマートフォン等を利用した連絡網への登録のお願い…3

会員の声「社会福祉士取得から10年目を迎えるにあたって」…4

茨城県社会福祉士会のFacebookページもよろしくお願いします！…4

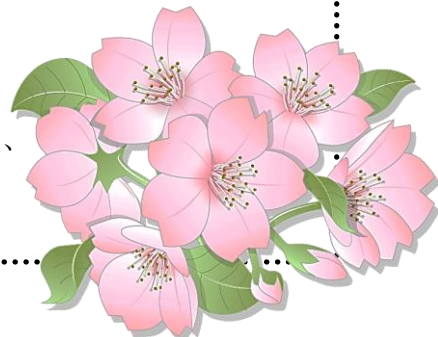
第29回社会福祉士国家試験結果…5

新規入会会員大募集中です…5

ブロック活動報告…6～10

(県北ブロック、県央ブロック、県南ブロック、
県西ブロック、鹿行ブロック)

編集後記・・・10



社会福祉士共通基盤研修「ソーシャルワークの評価と数量化」を受講して



平間 麻里子

はじめは、参加しようかととても迷った。なぜなら、評価も数量化も難しい、という気持ちが強かったからである。

では、なぜ参加したのか。それは、三浦先生が、以前、私たちの仕事を周囲から認めてもらうためには、私たちの仕事を「評価」していかなければならない、という話を聞いたことがあるからである。自分たちの仕事を理解してもらうためには、「思い」や「努力」だけでは伝わらない、というのは理解している。しかし、苦手な「評価」。でも、ここを勉強しなければ、自分たちの専門性が示せない、という思いも強く参加した。

先生の講義の中で学んだこと。(たくさん感覚としては受け取ったが…)

1つ目：福祉に限らず、自分の仕事を周囲に認めてもらうためには、根拠を示していくこと。そのためには、誰にでもわかってもらえるように、具体的に、同じ基準で「評価」し、正確に伝えていくこと。

はじめは、数字で正しい評価ができ、根拠が示せると考えていたが、絵や映像、文章でも、人を説得できることがワークにより体感できた。数字で根拠を示せることと、視覚に訴えて実態を伝えること、それぞれに良さがあり、欠点があることがわかった。

2つ目：質的記述を数量に直すことができること。

私達の仕事が数量化できた時のおもしろさや感動を感じることができた。経験や感覚、記録の質的表現で伝えていたことを数量化できること。

私達「社会福祉士」の専門性の確立のためには、必要不可欠なことであること。

3つ目：普段、私たちが大事にしている記録の重要性を改めて理解した。

「根拠」を示していくことが大事であり、そのためには忙しいことを理由に「記録」を疎かにしてはならない。プロセス評価は私達の支援技術の質を高められること。

プロセス評価とアウトカム評価、両方の重要性。証拠を示すためにはアウトカム評価は必要であり、評価をするためには「計画」が不可欠である。

この分野は、社会福祉士の人は必ず学び、現場で実践していかななくてはならないものであると感じました。

引き続き、継続して勉強して、自分のものにしていければと考えます。



IFSW「グローバル定義」と日本のソーシャルワーク実践に参加して



羽成 木綿子

三団体合同研修会が水戸協同病院において、立教大学コミュニティ福祉学部松山真教授をお迎えし、平成 29 年 1 月 28 日に開催された。ソーシャルワークのグローバル定義について学ぶ研修であったが、日頃からソーシャルワークの定義を意識しながら仕事するということがないので、具体的なイメージを持たずに受講したが、すべての理解は難しいものの、松山先生の講義は分かりやすいものだった。

IFSW ソーシャルワーク定義 2014 とこれまでの定義の違いの一つはマクロに焦点が当てられているということである。ミクロからメゾ、マクロへとソーシャルワークのレベルは広がっていく。そのために、社会変革と社会開発や人々のエンパワメントと解放を促進することが眼目としてあげられた。

そして、今回のグローバル定義では、地域・民族の知の協調などが述べられ、これまでの先進国を中心とした考え方ではなく、地球上のあらゆる地域・国の価値観も尊重されるものとなっている。

また、ソーシャルワークは、実践に基づいた専門職であり学問であるとも定義され実践と研究をソーシャルワークの両輪としての位置づけとしていることも述べられている。できる限り、「人々のために」ではなく「人々と共に」働くという考え方で実践していくものとされている。

自分自身が仕事を進めていく上で、つい誰かのためにと考えながら動いてしまっていることを反省し、エンパワメントにつながる姿勢を持っていきたいと思った。



携帯電話やスマートフォン等を利用した連絡網への登録をお願いします！

郵送費等の低減と会員の皆様への情報提供の迅速化を目的とした連絡網システム（マ・メール）へのご登録をお願いいたします。

①迷惑メール防止機能をご利用の方は「mamail.jp」からのメールを受信できるようにご設定ください。

②csw-ibaraki@mamail.jp に空メールを送信してください。

③折り返し送られてきた「入会お礼メール」の本文末に記載されているリンクをクリックし、プロフィール入力画面にしてください。

④表示された画面でプロフィールを入力し、[登録]をクリックして登録完了です。

※登録は、一人につき一つのメールアドレスに限定して頂けるようお願いいたします。



社会福祉士取得から10年目を迎えるにあたって

社会福祉法人 梅の里 小川 舞

この道に入ったきっかけは、中学校時代に行った高齢者施設でのボランティアです。何気ないことで、利用されている方々が笑顔を見せてくれることが嬉しくて、「こんな風に、笑顔が見られる仕事が将来出来たらいいなあ。」と思っていました。

高校へ進み、進路を決めるにあたってその思いは消えず、福祉を学べる大学への進学を希望しました。大学見学を進めていく中で、社会福祉士という国家資格がある事を初めて知ったのです。説明会の中でも、「福祉系に進むなら、社会福祉士は取った方がいい。今後、必要になってくる資格だから。」と勧められ、「そんな資格があるなら取ってみよう。将来働くにも有利かもしれない。」そんな漠然とした気持ちから、社会福祉士を目指したのです。大学卒業の年に国家試験を受験し、（あと1問間違えれば落ちていた、ギリギリの点数でしたが）無事に合格。晴れて、社会福祉士となりました。

卒業後に今の職場に就職し、障害がある方の施設入所支援の支援員として配属されました。そこでは、資格の有り無しに関わらず、仕事をしており、「社会福祉士って何だろう？」「資格を取った意味はあったのだろうか？」と、疑問に思っていました。そんな中、知り合いに誘われて、社会福祉士会の研修に参加しました。そこで、「利用者の利益の最優先」を学び直し、「今の私の役割では、この価値観が特に必要だな」と考え、意識しながら業務に取り組むようになりました。

現在は相談業務に異動し、他職種の方と関わる機会が増えてきました。どの職種の方も、それぞれの視点から利用者の利益を考えており、「その中で社会福祉士の役割って何だろう？」と改めて考えるようになりました。先輩方の仕事を見聞きする中で、利用者を支援に繋いだり、関係機関同士のネットワークを構築していくことが、社会福祉士の役割なのかなと、感じています。繋ぐには、きちんと制度等を知らなければなりません。しかし、それは年々変化しており、学び続けなければならないと感じます。

今年の4月で、社会福祉士になって10年目を迎えます。まだまだ未熟な面が多く、迷ったり、悩んだりすることが沢山あると思います。その中でも、周りの方との繋がりを大切にしながら、自分なりのペースで進んでいければと思います。

茨城県社会福祉士会のFacebookページもよろしくお願いします！

<https://www.facebook.com/csw.ibaraki>



各種お知らせや研修会の様子等を発信しています。
皆さまぜひ「いいね！」やフォローをお願いいたします！

※「いいね！」などのご参加を頂くにはFacebookへの登録（無料）が必要となります。
Facebookに登録しなくても閲覧は可能です。



第29回社会福祉士国家試験結果

受験者数：45,849 名

合格者数：11,828 名

合格率：25.8%

茨城県の合格者数：224 名

3月15日（水）に合格発表があり
茨城県でも224名の方が合格し
ました、(^o^)

新たに社会福祉士に仲間入りをする
方に出会ったら「合格おめでとう！
社会福祉士会に入って一緒に活動し
よう！」とお誘いくださいね♡



★新規入会会員大募集中です★

職場やご友人に社会福祉士の資格をお持ちでまだ社会福祉士会に入会されていない方はいらっしゃいませんか？また、新たに社会福祉士国家試験に合格した方はいらっしゃいませんか？もし身近にそんな方がおりましたら、ぜひぜひ社会福祉士会への入会のお声かけをお願いいたします。

資格取得はスタートラインです。様々な研修に参加したり、懇親会でネットワークを広げたり、社会福祉士会で更に自分を磨いて行きましょう！相談できる仲間が増えるとお仕事をする上でもとっても心強いですよ♪

茨城県社会福祉士会事務局にも入会申込書を準備しております。お電話を頂くか、ホームページ（<http://www.csw-iba.org/>）にある入会申込書請求フォームから入会に必要な書類を請求できますので、大いにご活用くださいね。





○ラインメンバー募集中

毎回本音トークでメンバーが少しずつ増えています。

みなさん参加をおまちしています。

皆さん、ご機嫌いかがですか？県北ブロック広報担当の石井です。

今回は『県北ブロック本音トーク 第2回&第3回』について、ご報告致します。

【H28.11.18(金) 第2回@ナザレ園】

いつものように、お弁当を食べながらの開催でした。

今回の担当は愛正会の関根さん。予てから「重度心身障がい児童」を支援されている方ですが、勤務されている「茨城県福祉医療センター」での取り組みをお話下さりました。福祉事業に関しては、どの分野においても共通事項でありましょうが、地域ぐるみで、どう展開していくか？の視点が常々問われてくるものであると感じました。特に医療支援がリンクしてくると、さらに重層的な取り組みが求められてくるものだと思います。



【H29.1.20(金) 第3回@ばんどう太郎 太田店】

年に1度のお楽しみ？(笑)、1月という寒い時期に開催することもあるって、昨年同様に、熱々のうどんを食べながらの開催となりました。

今回の担当は、ナザレ園の大部さん。那珂市にあるナザレ園では全国的にも珍しい？「盲老人ホーム」を運営されていることもあり、併設されている特別養護老人ホームとの「重層的支援」を実施していく上での様々な支援の在り方を、お話下さりました。関連する法制が違うこともあり、所謂「支援の移行時期」の見極めに苦慮されていると…。

余談ですが、「ばんどう太郎」で開催される日の天気は、前年に続いて「雪交じりの雨の日」でした…。



県北ブロックは地域が広く、かつ距離的な事情もあり、参加者がどうしても限られてしまうのが現状のところであります。少しずつではありますが、参加者を増やしつつ、こうした機会を継続していきたいと思っています。

次回開催は5月19日(金) 19:00 から、日立市 南ひまわり学園での予定です。

恐縮ですが、私 石井が担当させていただきます。よろしくお願い致します。

県央ブロックだより



こんにちは。春の便りがあちらこちらからきておりますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。
2月には沖縄大学で教鞭をとられておられる島村 聡先生をお迎えしての県北・県央ブロック合同新年会を開催し、25名の方々にお越し頂きましてたいへんな盛り上がりとなりました。
泊りがけで県南ブロックからもご参加下さった方もおられ、新たなつながりにときめきました。
ブロックを越えた懇親会はこれからも開催する予定です。温かい親睦の場になっておりますので、ぜひ酒宴にもお越しになって下さい！！ぜひ、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております(*^_^*)

◇◆県北&県央ブロック合同新年会に参加して◆◇

小川 舞

2月17日、県北&県央の合同懇親会が開催されました。
県南ブロックの方や、沖縄の島村先生にもご参加いただき、総勢20名を超えるにぎやかな宴会となりました。
また、座席をくじで決めるという幹事さんの粋な計らいで、初めてお会いする方と交流を持つことが出来ました。
日頃の業務で、所属する組織だけでは担えないニーズが出てきます。そんな時に、このような場で、会員同士の繋がりを作ることが大切だなと思います。
もちろん、笑い話をして日常の疲れを癒す場でもあります。
気さくな方が大勢いらっしゃいますので、まだ参加なさった事のない会員さんも、ぜひいらしてほしいです。

◇◆研修会のご案内◆◇

シェアの場 in 茨城♪

今、ここで語り合しましょう

✿平成29年3月25日(土)

✿13:00受付

✿13:30~16:00

✿茨城県総合福祉会館

4階大研修室

*当事者、支援者の枠を超えて、互いの想いを語り合い、わかち合う場です。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

かれこれ6年にわたってブロック便りの編集を担って参りましたが、この度卒業することとなりました。今まで多くの方に無茶ぶりをしてきました事をお詫び致しますと共にご協力を賜り、本当にありがとうございました。これからは横須賀優さんが担当しますのでどうぞよろしくお願い致します！

滝口康子

◆懇親会のお知らせ◆

■日時：3月25日(土) 18:30~

■場所：佐吉 水戸店

水戸市姫子 1-801-23

県央ブロック以外の方もご参加できます！

組織強化担当

荒川・長田

県南ブロック活動報告

ホームページ ⇨ <http://ibanancsw.hp2.jp>

今年度も残りわずかになりました。来年度も県南ブロックでは定例会議に懇親会、研修会、会員交流会などなど計画中です。ぜひぜひご参加くださいね♪まずは顔を合わせることからスタート、仲間とつながりネットワークを広げていきましょう！

研修会「障害者及び高齢者虐待対応について」を開催しました！

11月19日は丹下・小沼法律事務所の小沼典彦弁護士を講師にお招きし、「障害者及び高齢者虐待対応について」と題して研修会を開催しました。

一括りに虐待といっても誰が誰にどういう虐待をしたかで当てはまる法律も変わってくるそうです。もしも虐待に気づいたら1人で判断をせず、まず相談することが大切であり、万一訴訟に持ち込まれた場合に備えていつ誰にどのような対応をしたかを記録に残すことも重要というお話がありました。

関心深いテーマだった様子で参加者からは担当するケースについての質問などが活発に出てきておりました。



研修会「言いたいことを、さわやかに～アサーション超入門～」を開催しました！

2月18日にはつくば国際大学の山田圭介氏を講師にお招きし、「言いたいことを、さわやかに～アサーション超入門～」というテーマで研修会を開催しました。

人と人とのコミュニケーションはコツを知っていると少し楽に。日常の中でも活用できることだと思いますが、利用者主体で相談援助業務をしていく中でも、「自分を大切にしつつ、相手を傷つけず、考えや感情を伝える」というアサーションの考え方は活用できそうです。参加者からは続編を期待する声も聞かれました。



定例会議でNPO法人キドックスの活動をご紹介頂きました！

2月18日は、引きこもりなどコミュニケーションが苦手な若者と保護犬の双方への支援を両立されているNPO法人キドックスの上山琴美氏にお越し頂きました。

法人名のキドックスはキッズとドックを合わせた造語。若者と保護犬を結びつけることで相互作用の中で相乗効果を生み、若者も保護犬も良い方向へ向かっていくことを目指す法人の取り組みについてお話頂きました。

上村さんを取材して書かれた『捨て犬たちとめざす明日』という書籍も出版されています。



定例会「学び合いの時間」担当予定

- ・ 4月 山口会員（龍ヶ崎市役所）
- ・ 6月 亀井会員（ケアステーションコナン）
- ・ 10月 佐々木会員（やすらぎの園）
- ・ 12月 藤井会員（ゆう社会福祉士事務所）

以降続きますので楽しみに!!

★次回のブロック定例会議★

4月15日（土）18時～
土浦市役所 2階 研修室 2
終了後には懇親会を開催します!!

詳細は県南ブロックホームページで◎



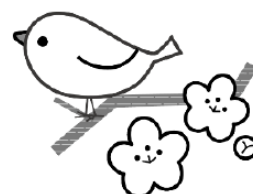
けんせいつうしん

年々花粉症がひどくなり、この時期はとても憂鬱…。4月には新生活が始まります。皆さん体調に気を付けて、頑張りましょう！

平成29年度は、県西ブロックの活動を立て直したいと考えていますので、ご協力をお願いします。

さて、今回のリレートークは、友愛記念病院の渡邊さんです。

リレートーク 6



私は古河市にある友愛記念病院の 渡邊 希代光と申します。

現在は相談支援センターがん相談支援室で、緩和ケア病棟の入院相談や在宅への退院支援、心理・経済的な課題の解決に向けた支援を中心に、社会保険労務士と協働で治療と仕事の両立に向けた「がん就労相談」・がんを経験した方達やその家族さんが集まり、語り合いを目的とした「がん患者家族サロン」・がんを経験した方が、がんに罹患された方や家族さんの個別面談に応じる「がん患者ピアサポート」の業務に従事しています。

そうした日々の中で意識していることは、「ポジショニング」と「in the shoes」です。

このキーワードはゼミの恩師から教わったもので、私の実践で脈々と生きています。

「ポジショニング」は、奥川幸子氏が著書「未知との遭遇～癒しとしての面接～」の中で、「相手の置かれている状況をポジショニングすると同時に、ソーシャルワーカーとして自分自身のポジショニングも必要である。」と実践の経験値から解説されています。

学生の時にこの本を勧められ、実践を重ねながら何回も読み返すことで、本質的意味を身体にたたき込んでいくところです。

「in the shoes」は、Carl B, Germain が著書「Social Work Practice in Health Care」の一節で、「共感する情緒的プロセスには、その人が何を経験し感じているのかを確認するために、その人が歩んできた靴を履いてみるということを含んでいる。その人と一緒にそこに居るということは、その人の世界に入り、内側からその人の世界を理解するという努力が含まれる。」と述べています。

原書を用い言葉の意味を考えながらのゼミでしたが、このフレーズがソーシャルワークを象徴しているようで、とても印象に残っています。

目の前に居る患者さんや家族さんの生きてきたストーリーを教えていただきながら、この2つの視点でインタビューをすることで臨床像を描けるようになり、ソーシャルワークの醍醐味というものを実感しながら実践しています。

※次回は『古河市役所 相良有美さん』へバトンタッチします。

イベント告知や勉強会等の案内などがございましたら、お知らせください！
また、会活動充実のため、マメールへの登録もお願いします！

●県西ブロック 石塚（旧姓：岩田） mymiwt910@icloud.com

鹿行ブロック活動について



鹿行ブロック研修報告（平成 29 年 2 月 19 日潮来市立図書館）& 予告

「目からうろこが落ちた！ そうだったんだ住民税と福祉の関わり」

福祉の仕事には税金との関わりがたくさんあります。

例えば、

障害者	自立支援医療における利用者負担	市町村民税
介護保険	介護保険料	市町村民税
国民年金	年金保険料免除	市町村民税
国民健康保険	保険料算出	所得・固定資産税
幼稚園・保育園	保育料算出	市町村民税

市町村の住民税には、均等割と所得割があります。

茨城県の場合、均等割は、市町村民税が 3,000 円、県民税が 1,000 円なのですが、平成 26 年度から平成 35 年度までの間、東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律に基づき、均等割の標準税率を県民税・市町村民税それぞれ年額 500 円引き上げられています。さらに、茨城県は、湖沼税として 1,000 円を加えています。実質は、合わせて均等割 6,000 円となります。

所得割は、毎年 6 月に市県民税が課税されますが、その算出根拠は、前年の 1 月から 12 月まで得た収入を所得に読み替え、所得控除後に計算されます。税率は、10%です。内訳が市町村民税 6%+県民税 4%。この税率は、どこの市町村も同じです。市町村が、県民税も一緒に課税しています。さて、住民税の中には県民税も含まれていますのでご注意ください。自立支援医療、介護保険料、年金保険料免除、幼稚園や保育園保育料の算出根拠は、市町村民税だけです。県民税は含まれていません。県民税を含めた税額を使用すると負担する額が増えてしまいます。

次に、収入と所得の違いです。違いわかりますか？

サラリーマンなどは給与所得といいます。1 月から 12 月までの会社が支払うお金すべてを「収入」といいます。手取りではありませんよ～。

「所得」は、「収入」を「所得」に読み替えます。「収入」額によって、「所得」を算出する一覧表があり、そこから「所得」を導き出します。

例えば、1 月から 12 月までの収入が 95 万円だとしたら、給与所得控除 65 万円を差し引くと 30 万円になります。「収入」が 95 万円、「所得」が 30 万円となります。給与所得控除は、収入額により変わります。

このように、税金って複雑。ちょっと知っておくだけで、税務課へ詳細を説明させるきっかけになります。

今後の予定、住民基本台帳と戸籍の違い、介護保険制度などを開催します。

【編集後記】

春の優しい陽気を感じられるようになってきた今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか？年度末が近付き、新年度の準備に忙しくされている方もいらっしゃると思います。

当会では来年度も基礎研修Ⅰ～Ⅲ、共通基盤研修、成年後見制度活用講座など順次研修会や懇親会を開催していく予定です。まずは顔を合わせるところから、仲間が沢山できるととっても心強いですよ。研修で学び懇親会で楽しく交流し、ぜひ繋がりを広げ深めていきましょう！多くの皆さまのご参加をお待ちしております！

広報報事業部

